



温室効果ガス排出量算定ツール「C-Turtle® FE」の導入について ～地域のカーボンニュートラル達成に向けた取組みを支援～

百十四銀行（頭取 森 匡史）は、株式会社NTTデータ（代表取締役社長 佐々木 裕）が提供する、投融資先の温室効果ガス（以下、「GHG」という。）排出量を算定する「C-Turtle® FE」を四国地区の金融機関で初めて導入しますので、下記のとおりお知らせします。

本ツール導入により、GHG排出量算定の高度化やお客さまとのエンゲージメント向上を図るほか、より最適な脱炭素コンサルティングやサステナブルファイナンス等の提供につとめ、地域のカーボンニュートラル達成に貢献してまいります。

記

1. 導入目的

当行は「百十四グループマテリアリティ（重要課題）」のひとつに「気候変動等、環境課題への取組み」を掲げ、環境保全活動及び環境配慮型の金融商品・サービス等の提供を通じて、気候変動リスク低減に向けた取組みを進めています。

脱炭素に向けた対応として金融機関には、自行グループのGHG排出量の削減はもとより、投融資先のGHG排出量（以下、「ファイナンスド・エミッション」という。）の算定及び開示が求められています。本ツールを導入することで、精緻なファイナンスド・エミッションの算定が可能となるほか、より最適な脱炭素コンサルティングやサステナブルファイナンスの提供が可能となります。

2. サービス概要

「C-Turtle® FE」は、サプライヤーのGHG削減努力を自社のScope3[※]排出量の削減効果として取り込むことができる「総排出量配分方式」を採用しており、金融機関の国際的な排出量算定基準である「PCAFスタンダード」に準拠したファイナンスド・エミッションの可視化及び削減を支援するプラットフォームです。なお当行では本プラットフォームを取引先にも活用いただくことで、地域の脱炭素推進を加速させていく予定です。

（注）Scope3：企業の事業活動に関連する、自社以外から排出されるGHGの量（サプライチェーン排出量）

以上

PCAFスタンダード対応、金融機関様向けGHG排出量算定プラットフォーム



Point 1 PCAFに準拠したFE算定

国際基準「PCAFスタンダード」に基づいた算定が可能、セクター別、投融資先別の排出量を可視化します

Point 2 幅広い企業のGHG排出量情報を保有

大企業から小規模企業まで幅広く企業のGHG排出量情報（一次データ）を保有しており、データクオリティの高い算定が可能です

Point 3 取引先とのエンゲージメント促進

取引先のGHG排出量情報を金融機関様へ連携し、情報収集の効率化/取引先管理にも活用できます